

## 「動詞の「ている」形意味分類データ」について

中俣尚己（京都教育大学）  
[nkmt\\_n@yahoo.co.jp](mailto:nkmt_n@yahoo.co.jp)

このデータは制作者である中俣尚己が、BCCWJ からランダムにサンプリングした「ている」を含む2万文について、「進行」「結果」「経験」「状態」の意味タグ付与を行い、それを動詞ごとに集計したものである。本データはもともと生産性の計算のために用意されたものであるが、どの動詞の「ている」形がどの意味になるのかということについての大規模なデータベースとしても利用可能であるため、集計結果について公開する。なお、元となった論文は以下の通りである。データの収集方法や分類の基準などもこの論文に記しているなので、参照して頂きたい。

中俣尚己(2016)「「ている」の意味分類と生産性」『計量国語学』30(7)

(なお、論文は2018年初頭には以下のページで公開される予定である。)

『計量国語学』アーカイブ

<http://www.math-ling.org/archives/index.html>

本データはCSV形式で、各動詞の「ている」形のそれぞれの意味での出現数を粗頻度の形で記してある。おそらく重要なのは意味の割合であるので、利用者の目的に応じて、パーセントなどを計算して頂きたい。また、利用者の目的によっては「経験」や「状態」を「結果」と統合することも考えられるであろう。

本データの利用は自由であるが、本データを使用した研究成果を発表する際には上記の論文の書誌情報とともに、このデータのURLを記載すること。

「動詞の「ている」形意味分類データ」<http://nakamata.info/teiru.zip>